

事例番号:280139

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 37 週 2 日 基線細変動の減少を認める

妊娠 37 週 3 日 胎児発育不全と羊水過少のため入院

妊娠 37 週 5 日 遅発一過性徐脈が出現

3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

4) 分娩経過

妊娠 38 週 1 日

6:05 胎動減少の自覚あり

6:06- 遷延一過性徐脈を認める

8:23 胎児機能不全のため帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 胎盤辺縁に凝血塊が付着、10%剥離の常位胎盤早期剥離の所見あり、急性臍帯炎Ⅲ度、急性絨毛羊膜炎Ⅲ度、胎盤重量 320g

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 1 日

(2) 出生時体重:2076g

(3) 臍帯動脈血ガス分析値:pH 6.957、PCO₂ 94.6mmHg、PO₂ 16.4mmHg、
HCO₃⁻ 20.1mmol/L、BE -15.1mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 2 点、生後 5 分 5 点

- (5) 新生児蘇生：人工呼吸（バッグ・マスク）、気管挿管
- (6) 診断等：
 - 出生当日 重症新生児仮死、低出生体重児、播種性血管内凝固症候群
 - 生後 9 ヶ月 染色体異常
- (7) 頭部画像所見：
 - 生後 3 日 頭部超音波断層法で右脳室内出血 GradeIV
 - 生後 23 日 頭部 CT で両側側脳室は著明に拡大し、大脳白質はび慢性に低吸収を示す
 - 生後 50 日 頭部超音波断層法で低酸素性虚血性脳症の診断

6) 診療体制等に関する情報

- (1) 診療区分：病院
- (2) 関わった医療スタッフの数
 - 医師：産科医 3 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名
 - 看護スタッフ：助産師 1 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、胎児低酸素・酸血症であると考える。
- (2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、胎児発育不全、胎盤機能不全により胎児が低酸素の状態となり、常位胎盤早期剥離により低酸素の状態が悪化したことである可能性がある。
- (3) 絨毛膜羊膜炎、臍帯炎および生後の脳室内出血が脳性麻痺発症の増悪因子となった可能性がある。また、染色体異常の関連も否定できない。
- (4) 胎児低酸素・酸血症の発症時期は特定できないが、妊娠 36 週 4 日から 37 週 2 日の間に低酸素状態となり、児娩出までの間に徐々に悪化したと考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

- (1) 妊娠中の外来管理および胎児発育不全、羊水過少の診断で妊娠 37 週 3 日に入院管理としたことは一般的である。
- (2) 入院後の管理（超音波断層法、胎児心拍数モニタリング等により胎児の健常性の

評価を行ったこと)は一般的である。

- (3) 胎児発育不全で入院中の妊産婦に対し助産師が胎動減少時における注意点についての保健指導を行ったことは医学的妥当性がある。
- (4) 妊娠 37 週 6 日に同意書を取得の上、妊娠 38 週 1 日に胎児発育不全のため分娩誘発の方針としたことは一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 38 週 1 日の診断(胎動減少の訴えよりドップラ法、胎児心拍数陣痛図、超音波断層法を実施し胎児機能不全と診断)と対応(帝王切開を決定)は一般的である。
- (2) 帝王切開決定後の対応(胎児心拍数陣痛図の所見から酸素投与、および超音波断層法による胎児評価を施行し、文書による同意を得てから帝王切開を行ったこと)は選択肢としてありうる。
- (3) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。
- (4) 胎盤病理組織学検査を行ったことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生および NICU 入院後の管理は一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

緊急帝王切開における安全対策シミュレーションを継続することが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児発育不全が疑われる場合の胎児健常性の評価として、「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2014」に基づき、ノンストレステストやコントラクションストレステストのほかに、超音波パルスドップラ法による胎児臍帯動脈血流測定や BPS 検査の実施を普及し、分娩時期の決定基準の策定が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。